



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 高田工業所
コード番号 1966 URL <http://www.takada.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 寿一郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 牟田 郁二

TEL 093-632-2631

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	19,432	△0.4	203	52.0	204	74.8	96	69.9
25年3月期第2四半期	19,508	1.6	133	△65.0	116	△68.9	57	△73.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 159百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	15.30	3.21
25年3月期第2四半期	9.01	1.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	25,619	9,798	37.1
25年3月期	23,394	8,822	37.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 9,494百万円 25年3月期 8,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況であります。なお、当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	4.3	550	—	520	—	240	—	30.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※通期の1株当たり当期純利益は、優先株式の配当金が未定のため、前期の優先株式の配当年率を使用した配当金を当期純利益から控除し、算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	7,220,950 株	25年3月期	7,220,950 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	890,307 株	25年3月期	889,737 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	6,330,791 株	25年3月期2Q	6,331,930 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(百万円未満切捨て)

(参考)個別業績の概要

1. 平成26年3月期第2四半期の個別業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	17,095	△4.7	143	86.8	203	89.4	112	113.9
25年3月期第2四半期	17,943	1.9	76	△74.4	107	△68.3	52	△73.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	17.80	3.73
25年3月期第2四半期	8.32	1.62

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	23,940	8,620	36.0
25年3月期	22,622	8,475	37.5

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 8,620 百万円 25年3月期 8,475 百万円

2. 平成26年3月期の個別業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	34,800	3.9	430	—	460	—	200	—	24.13

(注)直近に公表されている業績予想(個別)からの修正の有無 : 有

※通期の1株当たり当期純利益は、優先株式の配当金が未定のため、前期の優先株式の配当率を使用した配当金を当期純利益から控除し、算出しております。

(注)個別業績の概要につきましては、法定開示における四半期レビュー手続きの対象外であります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

○ B種株式(優先株式)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘
25年3月期	—	0 00 0	—	0 00 0	0 00 0
26年3月期	—	0 00 0	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	未定	未定

(注)平成26年3月期の予想につきましては、配当率が平成26年4月1日の日本円TIBOR(6ヶ月物)に1.00%を加えた率による予定のため、現時点では未定とさせていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策、日本銀行の大規模な金融緩和策による期待感から、円安・株高傾向に推移するとともに、企業収益に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかに回復しつつあり、デフレ状況からの脱却に向けた動きが徐々に表れてきました。

当社グループの関連するプラント業界におきましては、景気回復に伴い、お客様の業績が改善されていく動きもありましたが、設備投資マインドが上昇に転じるまでには至っておらず、また、お客様の競争力強化のため、国内設備の海外移転や統廃合が進んでおり、工事案件が少なくなる中、価格競争は熾烈となるなど、厳しい経営環境が継続いたしました。

このような情勢の中、当社グループといたしましては、平成24年度から平成26年度までを実施期間とする『中期経営計画』の2年目として、各事業(プラント事業、海外事業、原子力事業、装置事業)の基本方針・事業戦略を確実に実行していくとともに、外部環境の変化を考慮した修正(「受注量の確保」、「採算性の改善」、「固定費の削減」)を図りながら、利益確保を目指しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上面につきましては、石油・天然ガスプラント、電力設備、エレクトロニクス関連設備等の工事案件を確実に受注してまいりましたものの、主要分野である製鉄プラント、化学プラントの建設工事が減少し、加えて化学プラントの大型保全工事が少なく、連結売上高は、194億3千2百万円(前年同四半期比0.4%減)となりました。

また、損益面につきましては、熾烈な価格競争による受注価格の下落が継続いたしました。事前工事計画の徹底、工事運営の効率化、コストダウンの推進、加えて販管費等の経費削減等に努めてまいりました結果、連結営業利益は2億3百万円(前年同四半期比52.0%増)、連結経常利益は2億4百万円(前年同四半期比74.8%増)、連結四半期純利益は9千6百万円(前年同四半期比69.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、256億1千9百万円で前連結会計年度末より、22億2千4百万円増加しました。増加の主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等が14億8千1百万円、未成工事支出金が5億6百万円、有形固定資産が1億8千2百万円増加したこと等によるものです。

負債合計は、158億2千万円で前連結会計年度末より、12億4千7百万円増加しました。増加の主な要因は、長期借入金が1億8千9百万円減少したものの、支払手形・工事未払金等が9億2千3百万円、短期借入金が6億8千1百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、97億9千8百万円で前連結会計年度末より、9億7千6百万円増加しました。増加の主な要因は、利益剰余金が6億1千9百万円、少数株主持分が3億3百万円増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末の17億8千6百万円に比べ2千8百万円増加し、18億1千5百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、7億2千1百万円の支出(前年同四半期比24.8%減少)となりました。

これは主に、仕入債務の増加額8億2千万円の収入と、売上債権の増加額11億9千5百万円、未成工事支出金の増加額5億6百万円の支出によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、1億9千9百万円の支出(前年同四半期3千8百万円の収入)となりました。

これは主に、有価証券の償還による収入3千万円と、有形及び無形固定資産の取得による支出1億5千6百万円、有価証券の取得による支出6千万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、4億7千3百万円の収入(前年同四半期比45.3%減少)となりました。

これは主に、短期借入金の純増加額7億円の収入と、長期借入金の返済による支出2億8百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後も国内景気は緩やかな回復基調が続くと思われませんが、依然として、プラント業界では受注環境の先行き不透明感や熾烈な価格競争が継続することが予想されます。

このような状況下、当社グループといたしましては、基本方針である『TAKADAグループとして将来の飛躍に向け、攻めの姿勢で拡大を志向する』のもと、『中期経営計画』に基づく事業計画の確実な戦略遂行と経営基盤の強化を図るため、お客様の海外移転や国内設備の統廃合が進んでいる中、海外事業推進体制の強化や市場規模の縮小に伴う合理化関連工事の受注活動強化をはじめ、既存のお客様への販路拡大、成長分野として考えられる環境・エネルギー分野関連工事の受注拡大、震災・防災関連工事の受注活動の強化といった重点施策を継続して実施してまいります。

加えて、今後の利益確保のための追加実行施策として、「受注量確保および生産・利益管理統制のための体制強化」をはじめとする諸施策を推進し、数値計画必達に向け、鋭意努力してまいり所存でございます。

なお、当第2四半期累計期間の業績につきましては、業績予想数値と実績値に差異が生じております。詳細につきましては、本日(平成25年11月6日)公表いたしました「平成26年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。通期の業績予想につきましては、今後の経営環境を勘案し、平成25年5月13日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました内容から次表のとおり修正いたしております。

(通期 連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	40,000	600	550	250	32.03
今回発表予想(B)	39,500	550	520	240	30.45
増減額(B-A)	△500	△50	△30	△10	
増減率(%)	△1.3	△8.3	△5.5	△4.0	

【参考】

(通期 個別業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	35,700	490	460	200	24.13
今回発表予想(B)	34,800	430	460	200	24.13
増減額(B-A)	△900	△60	—	—	
増減率(%)	△2.5	△12.2	—	—	

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であったスリ・タカダ・インダストリーズ(マレーシア)・エスディエヌ・ビーエッチディは、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,756,836	1,842,825
受取手形・完成工事未収入金等	11,543,707	13,025,629
有価証券	60,000	60,000
未成工事支出金	1,137,230	1,644,126
その他のたな卸資産	81,164	81,151
繰延税金資産	172,064	109,261
その他	145,136	145,843
貸倒引当金	△10,832	△11,172
流動資産合計	14,885,307	16,897,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,594,705	2,664,040
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	302,799	311,172
土地	4,055,081	4,168,163
建設仮勘定	9,655	1,599
その他(純額)	72,074	71,664
有形固定資産合計	7,034,315	7,216,639
無形固定資産	296,948	290,801
投資その他の資産		
投資有価証券	374,230	457,686
繰延税金資産	499,973	494,755
その他	304,187	261,502
投資その他の資産合計	1,178,390	1,213,944
固定資産合計	8,509,654	8,721,385
資産合計	23,394,962	25,619,050
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,275,184	7,198,525
短期借入金	4,416,000	5,097,000
未払法人税等	66,179	82,372
未成工事受入金	236,476	299,723
完成工事補償引当金	1,510	1,200
工事損失引当金	—	8,851
事業整理損失引当金	31,123	29,577
その他	904,716	617,639
流動負債合計	11,931,190	13,334,890
固定負債		
長期借入金	869,000	680,000
再評価に係る繰延税金負債	698,976	698,976
退職給付引当金	912,195	940,755
その他	161,337	165,809
固定負債合計	2,641,509	2,485,540
負債合計	14,572,699	15,820,431

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,642,350	3,642,350
資本剰余金	—	66
利益剰余金	6,107,277	6,726,759
自己株式	△23,636	△23,866
株主資本合計	9,725,991	10,345,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,373	45,267
土地再評価差額金	△614,748	△614,748
為替換算調整勘定	△302,603	△281,748
その他の包括利益累計額合計	△904,978	△851,228
少数株主持分	1,250	304,537
純資産合計	8,822,263	9,798,619
負債純資産合計	23,394,962	25,619,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
完成工事高	19,508,837	19,432,360
完成工事原価	18,051,693	18,022,401
完成工事総利益	1,457,144	1,409,958
販売費及び一般管理費	1,323,551	1,206,856
営業利益	133,592	203,101
営業外収益		
受取利息	3,320	6,344
受取配当金	7,321	4,494
受取賃貸料	12,914	12,909
助成金収入	10,162	10,495
その他	16,174	24,006
営業外収益合計	49,891	58,250
営業外費用		
支払利息	40,738	32,424
売上債権売却損	11,914	12,311
為替差損	4,307	405
その他	9,576	11,749
営業外費用合計	66,537	56,890
経常利益	116,946	204,461
特別利益		
固定資産売却益	7,699	—
特別利益合計	7,699	—
特別損失		
固定資産除却損	5,173	5,936
特別損失合計	5,173	5,936
税金等調整前四半期純利益	119,473	198,525
法人税、住民税及び事業税	70,832	55,244
法人税等調整額	△8,416	49,995
法人税等合計	62,415	105,239
少数株主損益調整前四半期純利益	57,058	93,285
少数株主利益又は少数株主損失(△)	30	△3,579
四半期純利益	57,027	96,865

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	57,058	93,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,673	32,894
為替換算調整勘定	△30,277	33,111
その他の包括利益合計	△58,951	66,006
四半期包括利益	△1,893	159,292
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,892	166,534
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△7,241

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	119,473	198,525
減価償却費	222,692	205,378
貸倒引当金の増減額(△は減少)	113	340
退職給付引当金の増減額(△は減少)	73,082	28,559
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	40	△310
工事損失引当金の増減額(△は減少)	—	8,851
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	△1,668	△1,545
受取利息及び受取配当金	△10,641	△10,839
支払利息	40,738	32,424
固定資産売却損益(△は益)	△7,699	—
固定資産除却損	5,173	5,936
売上債権の増減額(△は増加)	△541,822	△1,195,450
未成工事支出金の増減額(△は増加)	591,783	△506,895
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,109,244	820,532
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△215,932	50,301
その他	177,242	△294,627
小計	△656,671	△658,819
利息及び配当金の受取額	10,641	10,839
利息の支払額	△40,613	△32,918
法人税等の支払額	△272,533	△40,337
営業活動によるキャッシュ・フロー	△959,177	△721,235
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△27,717
定期預金の払戻による収入	189,870	18,708
有価証券の取得による支出	△30,000	△60,000
有価証券の償還による収入	30,000	30,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△169,391	△156,562
有形及び無形固定資産の売却による収入	19,670	—
投資有価証券の取得による支出	△1,712	△2,705
貸付けによる支出	—	△1,590
貸付金の回収による収入	457	498
投資活動によるキャッシュ・フロー	38,893	△199,368
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,740,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△208,000	△208,000
自己株式の取得による支出	△532,848	△237
自己株式の売却による収入	—	73
配当金の支払額	△121,096	△565
その他	△11,409	△17,629
財務活動によるキャッシュ・フロー	866,645	473,641
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,490	10,059
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△69,129	△436,902
現金及び現金同等物の期首残高	1,670,688	1,786,836
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	465,173
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,601,559	1,815,108

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したスリ・タカダ・インダストリーズ(マレーシア)・エスディエヌ・ビーエッチディを連結の範囲に含めたことにより、利益剰余金が522,616千円増加しております。